

福岡赤十字病院 外来診察担当医一覧表												
○新患及び再来 ●予約のみ △午後新患(予約のみ) ▲午後再来(予約のみ) ※再来は原則予約制です												
令和6年5月1日現在												
科別	氏名	月	火	水	木	金	専門分野・備考	職名				
総合診療科	川本 徹						内科一般	副部長				
	総診当番医師①	○		○	○		※当番医：内科系医師による交替制					
	総診当番医師②	○		○	○							
消化器内科	青柳 邦彦			▲	○		消化管 (食道・胃・小腸・大腸)	院長補佐				
	平川 克哉							副院長				
	冬野 雄太	▲	○					副部長				
	押領司祐貴子											
	吉原 崇正		▲	○								
	江頭 信二郎	○				▲						
	飯田 篤				○	▲						
肝臓内科	大村 一葉		○		▲							
	岩下 英之	●	○	○	●	○	肝・胆・脾疾患一般	部長				
	姫野 修一											
腎臓内科	徳本 正憲	▲		○			腎臓	部長				
	中井 健太郎	○	▲					副部長				
	園田 慎一郎	▲										
	原 雅俊		▲		○							
	井上 めぐみ					○						
	上原 景太郎			○	▲							
	落合 真子											
糖尿病・代謝・内分泌内科	大田 有穂						糖尿病、代謝、内分泌、生活習慣病 ※内分泌新患は火・水・金のみ					
	井元 博文	●	○		○			部長				
	豊永 雅恵	○				○						
	泊 秀史	▲		○								
	武井 祐樹		●		●							
	糖尿病担当医師				●							
	内分泌担当医師		○	○		○						
循環器内科	中川 瑞穂		●	▲		▲	循環器 第2・4 第1・3・5					
	向井 靖		○	○	○			部長				
	松川 龍一	○			▲			副部長				
	松浦 広英		○	▲				副部長				
	小河 清寛				○	▲						
	徳留 正毅			○								
	河合 俊輔	○										
	岡原 有秀					○						
	酒見 拓矢					○						
	児玉 泰樹		▲									
	徳本 真弘		▲									
	青木 良平											
高血圧内科	古賀 優輔						高血圧 13時から					
	黒木 勇人											
	大坪 俊夫	△						副院長				
呼吸器内科	中垣 憲明	●	○	○			呼吸器一般	部長				
	川床 健司											
	鷲尾 康圭				○							
	平山 藍子	○				○						
	山家 晃											
血液・腫瘍内科	谷本 一樹		○		○		血液疾患一般 固形腫瘍の化学療法	部長				
	平安山 英穂			○				部長				
	河野 一郎	○						部長				
	次郎丸 高志					○						
	北山 次郎	○			▲			部長				
脳神経内科	緒方 利安		▲		○		神経一般	部長				
	岡田 卓也			▲	○							
	中島 弘淳	▲		○								
	金沢 信		○			▲						
	井上 靖	▲	○	○	○			部長				
膠原病内科	田中 淳	○		●	○		膠原病 ※紹介予約は火・金の午後のみ					
	中野 未来		△									
	神川 壮太					△						
	三宅 典子		△			△		部長				
感染症内科	藤吉 直子						感染症一般 ※金は紹介患者のみ(13時～15時受付)					
	大石 涼											
外科	中房 祐司		○				消化器外科・乳腺外科	院長				
	永井 英司		○		○		消化器外科	副院長				
	本山 健太郎	▲			○		腎移植外科	副院長				
	小島 雅之		○		○		呼吸器外科	部長				
	上田 純二					○	消化器外科・肝胆脾外科	部長				
	井上 重隆		○		○		消化器外科	部長				
	小倉 康裕		○		●	○	消化器外科・肝胆脾外科	部長				
	小林 毅一郎		○				消化器外科	部長				
	三好 圭		▲		▲		呼吸器外科	副部長				
	亀田 千津				○	○	消化器外科					
	小田 康徳						消化器外科					
	松田 圭央	○			○		消化器外科・肝胆脾外科					
	服部 正見	○	▲	○	▲	○	乳腺・内分泌外科					
	森 瞳美		○	○			乳腺・内分泌外科					
	中島 陽平	○	○				消化器外科					
	佐藤 優	○			○		腎移植外科					
	山本 真大		○	○			消化器外科					
心臓血管外科	宮本 和幸		○		○		心臓外科・大動脈瘤 血管外科 ※火・木のみ	部長				
	内山 光		▲		▲							
	継 仁	○				○	脳腫瘍	部長				
脳神経外科	吉岡 努				○		脳血管障害(脳卒中)	部長				
	湧田 尚樹						脳神経外科疾患					
	松田 浩大		▲				※水は手術日です					

科別	氏名	月	火	水	木	金	専門分野・備考	職名
皮膚科	竹下 弘道	○	○	○	○	○	一般、尋常性乾癬 アトピー性皮膚炎 ※月10時まで、再診は完全予約制	部長
	今村 桜子	○	○	○	○	○		
眼科	山口 宗男	○	○	○	○		糖尿病性網膜症 白内障、緑内障 ※火は10時まで、木は手術日	副部長
	西田 崇	○	○	○	○			
	非常勤医師							
整形外科	池村 聡	○	○	○			関節外科	部長
	加藤 剛	○		○				脊椎・骨髄外科
	由布 竜夫						膝関節・脊椎外科・一般	部長
	安原 隆寛							手の外科・外傷・一般
	齋藤 武恭					○	脊椎・骨髄外科	
	筒井 智子							
	有隈 晋吉	○				○	外傷・一般 ※木は10時まで、火は手術日です	
	宮田 隆史	○				○		
	安達 淳貴			○	○	○		
	産婦人科	西田 真			婦		産	
藤田 恭之				産		産	部長	
和田 智子				婦		産		
濱崎 洋一郎						産 婦		
真島 雅子				産		婦	周産期 悪性腫瘍、良性腫瘍 腹腔鏡手術 ※火・木は10時まで	
駒木 達哉				婦		産		
吉賀 万里子								
井ノ口 文化				婦		産		
久富 恵理香						婦 産		
田中 桜子				産			婦	
松崎 聖司				産		婦		
担当医師		産婦	産婦		産婦	産婦		
小児科	波多江 健			○	●	○	腎疾患 新生児	部長
	長友 太郎			○		○		部長
	古野 憲司			○		○	感染症 腎疾患	部長
	黒木 理恵			○		●		副部長
	園田 有里			○	○	○	神経 一般	
	渡部 貴秀	○			○	○		
	江口 祥実			○	○	○	循環器	
	非常勤医師				●		神経	※予約制、午前のみ
	非常勤医師				▲		循環器	※予約制、午後のみ
	耳鼻咽喉科	高岩 一貴	○		○	○		耳科学 耳鼻科一般 水は第2・4のみ 水は第1・3・5のみ 木は第2・4のみ 木は第1・3・5のみ ※火・水・金は 原則10時まで 受付可能です
高良 佳江		○		○	○			
藤原 義宣		○		○	○			
大塚 杏子		○		○	○			
形成外科	近藤 玲未			○	○			
	前場 崇宏	○		○	○	○	整形外科・皮膚科・泌尿器・先天性疾患・顎顔面外科	部長
泌尿器科	清島 圭二郎		交	●	●	○		尿路結石 排尿機能障害 尿路感染症 尿路性器腫瘍 腹腔鏡手術 ロボット手術
	秋武 正和		替	●	○	●	副部長	
	児浦 末季史			○	●	●		
	和田 大和			○		○		
	満安 正							
精神科	非常勤医師							
	芝田 寿美男	●	●	●	●	●	一般・行動療法・強迫性障害 ※完全予約制、月・水・金のみ新患も診察 水・金曜日は各名2名	部長
	非常勤医師			●	●	●		
歯科・歯科口腔外科	丸瀬 靖之	○	○	○	○	○	一般歯科、口腔外科 ※再診は完全予約制	副部長
	伊東 美穂	○	○	○	○	○		
放射線科(診断)	川戸 達也	○	○	○	○	○	松尾 芳雄 樋口 賢太郎 検査依頼 (CT・MRI・RI等)のみ 電話予約制	部長
	松尾 芳雄							
	樋口 賢太郎							
	新堀 裕子							
	高瀬 草恵							
放射線科(治療)	竹中 耕平						木村 正彦 非常勤医師	部長
	木村 正彦	●	●		●			放射線治療
麻酔科	迎 雅彦						中西 洋太郎 丹羽 紗耶加 平野 敦祥 佐々木 愛 新堂 真麻 術中管理	部長
	中西 洋太郎							
	丹羽 紗耶加							
	平野 敦祥							
	佐々木 愛							
病理診断科	新堂 真麻						中友 レナ 和田 くる実 中川 真大 橋本 洋子 生野 慎二郎	
	中友 レナ							
救急科	和田 くる実						西山 憲一 峰 真理 友尻 茂樹 荒武 憲司 皆川 雄郷 弓削 理絵	部長
	中川 真大							救急(各種中毒疾患含む)
健診部	橋本 洋子						大坪 俊夫	副院長
	生野 慎二郎							人間ドック・健康診断

●受付時間 8時10分～11時00分 (診療開始 8時40分)

※診療科の備考欄に特に記載のない場合に限りです。

●急患診療体制

※救急車や医療機関からの紹介患者の受入れは、24時間体制で対応いたします。

内科系	平 日	17時00分～23時00分
	土・日・祝日	8時30分～23時00分
小児科	土(祝日除く)	9時00分～17時00分

●休診日 土・日・祝・年末年始(12/29～1/3)

科別	氏名	月	火	水	木	金	専門分野・備考	職名
皮膚科	竹下 弘道	○	○	○	○	○	一般・尋常性乾癬 アトピー性皮膚炎 ※月・火は10時まで、再診は完全予約制	部長
	今村 桜子							
眼 科	山口 宗男	○	○	○			糖尿病性網膜症	副部長
	西田 崇	○	○	○			白内障、緑内障 ※火は10時まで、木は手術日	
	非常勤医師			○				
整形外科	池村 聡	○		○			関節外科	部長
	加藤 剛			○			脊椎・脊髄外科	部長
	由布 竜矢			○			膝関節・脊椎外科・一般	部長
	安原 隆寛	○				○	手の外科・外傷・一般	
	齋藤 武恭					○	脊椎・脊髄外科	
	筒井 智子	○						
	有岡 晋吉					○	外傷・一般	
	宮田 隆史	○			○		※木は10時まで、火は手術日です	
	安達 淳貴					○		
	西田 真				婦	産		副院長
産婦人科	藤田 恭之				産	産	周産期 悪性腫瘍、良性腫瘍 腹腔鏡手術 ※火・木は10時まで	部長
	和田 智子				婦			
	濱崎 洋一郎					産		
	真島 雅子				産	婦		
	駒水 達哉				婦	産		
	古賀 万里子							
	井ノ口 文花				婦	産		
	久露 恵理香					婦		
	田中 桜子				産	婦		
	松崎 聖司				産	婦		
	担当医師				産婦	産婦		
	波多江 健				●		腎疾患	部長
小児科	長友 太郎	○		○		○	新生児	部長
	古野 寛司						感染症	部長
	黒木 理恵			○		●	腎疾患	副部長
	園田 有里			○		○	神経	
	渡部 貴秀	○					一般	
	江口 祥美			○		○	循環器	
	非常勤医師					●	神経	※予約制、午後のみ
	非常勤医師					▲	循環器	※予約制、午後のみ
	高岩 一貴	○			○	○	耳科学 耳鼻科一般	部長
	高良 佳江	○			○	○	水は第1・3・5のみ	
耳鼻咽喉科	藤原 義宣	○			○	○	木は第2・4のみ	
	犬塚 杏子	○			○	○	木は第1・3・5のみ	
	近藤 玲未				○	○	※火・水・金は 受付10時まで ※火・金は 初診受付のみ	
形成外科	前場 崇宏	○		○		○	形成外科・皮膚軟部腫瘍・先天性疾患・顎顔面外科	部長
	清島 圭二郎			●	●		尿路結石	部長
泌尿器科	秋武 正和			●	●	○	排尿機能障害	副部長
	児浦 未季史			○	○	●	尿路感染症	
	和田 大和	○				○	尿路性器腫瘍	
	満安 正						腹腔鏡手術	
	非常勤医師						ロボット手術	
精神科	芝田 寿美男		●	●	●	●	一般・行動療法・強迫性障害	部長
	非常勤医師				●	●	※完全予約制。月・水・金のみ新患も初診 水・土・日・祭日は毎週2週	
	丸瀬 靖之	○	○	○	○	○	一般歯科、口腔外科	副部長
歯科・ 歯科口腔外科	伊東 美穂	○	○	○	○	○	※再診は完全予約制	
	川戸 達也	○	○	○	○	○		
放射線科 (診断)	松尾 芳雄						検査依頼(CT・MRI・RI等)のみ 電話予約制	部長
	樋口 賢太郎							
	新堀 裕子							
	高瀬 華恵							
放射線科 (治療)	竹中 耕平						放射線治療	部長
	木村 正彦	●	●		●			
麻酔科	非常勤医師	●						
	迎 雅彦						術中管理	部長
	中西 洋太朗							
	丹羽 紗耶加							
	平野 敦梓							
	佐々木 愛							
	新堂 真麻							
	中友 レナ							
	和田 くる実							
	中川 真大							
病理診断科	橋本 洋子						人体病理一般	部長
	生野 慎二郎							
検査部	西山 憲一						検体検査管理	部長
	峰 真理							副部長
救急科	友尻 茂樹						救急(各種中毒疾患含む)	部長
	荒武 憲司							副部長
	菅川 雄郷							副部長
	弓削 理絵							副部長
健診部	大坪 俊夫						人間ドック・健康診断	副院長

●受付時間 8時10分～11時00分 (診療開始 8時40分)			※診療科の備考欄に特に記載のない場合に限りです。		
●急患診療体制			※救急車や医療機関からの紹介患者の受入は、24時間体制で対応いたします。		
内科系	平 日	17時00分～23時00分	小児科	土・日・祝日	8時30分～23時00分
	土・日・祝日	8時30分～23時00分		土(祝日除く)	9時00分～17時00分
●休診日 土・日・祝・年末年始(12/29～1/3)			※出張等で休診する場合がありますので、事前に各診療科にお尋ねください。		

☎0570-03-1211

担当医表は随時更新される場合がありますので、最新情報は右記のQRコードよりご確認ください。



福岡赤十字病院 広報誌

Cross Heart

2024.4

春号 vol.59

病院管理者【院長】中房祐司【副院長】西田真・永井英司・本山健太郎・平川克哉・大坪俊夫【事務部長】平田秀茂【看護部長】佐藤幸子
2024年4月発行(第59号)/福岡赤十字病院総務課 T815-8555 福岡県福岡市南区大楠3丁目1番1号 TEL0570-03-1211
https://www.fukuoka-med.jrc.or.jp/



福岡赤十字病院

日本赤十字社



CONTENTS

退任医師の紹介
着任・就任医師の紹介

慢性腎臓病(CKD)の進展を抑制するために

第26回日本医療マネジメント学会学術総会の開催について

デトックス春 健康レシピ 春にんじんのポタージュ

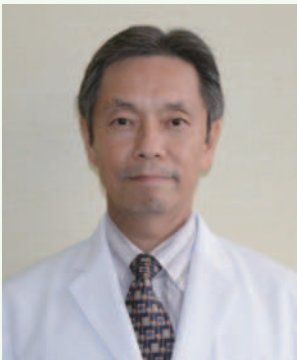
Introduction 登録医のご紹介
樋口病院
こもたクリニック

病院の理念

信頼と調和に基づく最良の医療
～地域を尊重、世界を視野に

基本方針

退任医師の紹介



副院長兼整形外科 部長 泊 真二

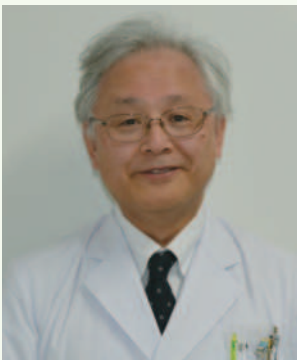
令和6年3月に定年退職を迎えます。平成4年6月から福岡日赤へ就職し32年が過ぎました。福岡日赤の前に広島日赤で約5年間働いており、日赤病院勤務を合計すると約37年間となり医師人生の大半を過ごさせていただきました。

平成16年から整形外科部長に就任し、専門の脊椎・脊髄疾患の外来診療・手術を行うことに加え、診療科全体で紹介・逆紹介など地域との医療連携を推進しました。大腿骨近位部骨折地域連携パスを立ち上げて医師会パスの作成にもかかわらせていただきました。

平成30年からは副院長を拝命しました。何回かの病気療養があり中房院長にはご迷惑をおかけしました。働き方改革では医師への広報と説明を行い認知度を上げることに努め、兼業のアンケート調査を行い兼業許可申請の仕組みを構築しました。

福岡日赤で働き続けられたのは多くの方々との出会いとご協力によるものと改めて感じています。本当にありがとうございます。

整形外科では後輩の先生方が毎日忙しく働いています。これからも整形外科をよろしく願います。



副院長兼感染症内科 部長 石丸 敏之

昨年65歳を迎え、2024年3月末をもって退任させていただくこととなりました。

2011年10月に感染症内科という新たな科に一人で赴任いたしました。現在は総勢3名で科の運用を行わせていただいております。在任中、新型コロナウイルス感染症の世界的流行に遭遇しましたが、病院スタッフの皆さん一丸となって対応していただき、何とか診療レベルを大きく損なうことなく4年間を乗り越えられました。福岡地域の医療関係の皆様にも、多大なご協力、ご助力をいただき、感謝申し上げます。去年から5類移行となり、以前のような医療負担はなくなってきました。私自身はある種の達成感を感じながら、心安らかに定年を迎えることができることに幸せを感じています。共に対応していただいた地域の医療スタッフ、また行政の皆様、本当に有難うございました。

今後は、福岡赤十字病院の連携施設でもう少しばかり地域の医療に関わらせていただく予定です。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



第一麻酔科 部長 生野 慎二郎

地域連携機関および受診患者の皆様、2023年3月31日をもちまして麻酔科部長を退任することになりました。私は2017年に福岡赤十字病院に赴任し7年間勤務させて頂きました。赴任当時は新病院に移転後で手術症例数は順調に増加しておりましたが、2020年からのコロナ禍により病棟および手術室の一部の使用が制限され手術症例の低下を余儀なくされ大変ご迷惑をおかけ致しました。おかげさまでコロナ禍が一段落後は手術症例数も回復し、2023年度の手術症例は5000例に迫るところまで増加し過去最高となりそうです。今後は日赤病院での貴重な麻酔経験を生かして地域の医療に貢献していく所存です。在任中の皆様のご厚情に感謝申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。



第二産婦人科 部長 遠城 幸子

1999年9月からこちらの勤務をさせていただきました。産婦人科医としての仕事だけではなく、①福岡在住の外国人の方々への医療提供②緩和医療の啓蒙③遺伝診療をテーマに仕事を続けてきました。その各々を病院の目標である①JMIP②PEACE プロジェクト③がんゲノム（パネル）診療につなげることができました。少しでも病院の発展に関わることができたかなと思っています。スタッフの皆様、地域の先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。これからも地域住民として、そして、地域の医師として福岡赤十字病院のより一層の発展を心より願っております。

Greetings of moving

着任・就任医師の紹介



副院長兼第一産婦人科 部長 西田 眞

昭和62年に九州大学を卒業して九州大学婦人科学産科学教室に入局後、平成14年から福岡赤十字病院に勤務しております。当院産婦人科は、周産期、婦人科腫瘍、救急医療を中心として診療を行っています。周産期医療では、ハイリスク症例のご紹介も多く、小児科をはじめとした他診療科との連携を密にしながら、母児の安全を第一に考えて診療にあたっています。

また、COVID-19のパンデミックでは多数の陽性妊婦を受け入れました。全国的な少子化の影響で当院でも分娩数は減少傾向ですが、令和6年4月から周産期専門医の藤田恭之部長が着任しましたので、さらに質の高い産科医療を目指していきたいと思います。私の専門分野である婦人科腫瘍領域においては良性および悪性腫瘍に対して積極的に低侵襲手術を行っており、異所性妊娠や卵巣腫瘍茎捻転等の救急症例も数多くご紹介いただいています。これからも、微力ながら地域医療に貢献したいと考えておりますので、ご指導ご支援をよろしくお願い申し上げます。



副院長兼移植外科 部長 本山 健太郎

私は2005年に当院に赴任し今年で20年目となります。一般・消化器外科医として研修してきましたが、1993年に大学の移植研究室に配属となり、以後腎移植を専門としています。当院では腎移植とともに腎不全の患者さんの外科手術を担当させて頂いています。腎移植では多くの診療科の協力が必要ですが、当院は大学病院に匹敵する総合力がありとても安全に続けられています。当院の診療科間の連携の良さは長年引き継がれており、大事にしたい長所の一つです。

また個人的にはコンピュータが好きで8年程前から病院情報システム管理に関わらせて頂いています。当院は本年1月に電子カルテの更新を行い、診察待ち状況を患者さんのスマートフォンに表示するシステムなどを導入しました。今後オンライン資格確認や電子処方箋などの医療DXにも積極的に取り組む予定です。

これからも地域の先生方に信頼される病院になれるよう、微力ではございますが尽力いたします。今後ともご指導の程、何卒よろしくお願いいたします。



副院長兼健診部長 大坪 俊夫

私は、1991年に九州大学第二内科（現病態機能内科学）に入局後、高血圧血管研究室に所属し、高血圧と尿酸を中心に臨床並びに研究を行ってまいりました。2018年9月からは福岡赤十字病院で高血圧内科部長、健診部長として高血圧診療、人間ドック・健診による予防医療に従事し、受診者の健康増進に取り組んでいます。ま約20年間産業医活動に従事し、“健康な方が健康であり続けるにはどうしたらいいのか”を考えながら職域の方の健康増進に努めてきました。

当院は、「信頼と調和に基づく最良の医療 ～地域を尊重、世界を視野に～」を理念として、日々の臨床活動が行われています。理念達成のために、今までの経験を活かしながら一生懸命頑張っていきたいと思います。皆様のご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



肝臓内科 部長 岩下 英之

幅広い疾患に対応できる医師を目指し、消化器内科に入局しました。これまで肝胆膵疾患以外にも上部・下部消化管内視鏡検査や治療など、消化器内科領域全般に携わってきました。

大学では肝臓研究室所属ですが、大腸ポリープに対する内視鏡的切除の臨床研究で学位を取得しております。

当院に赴任してからは肝細胞癌に対する経皮的ラジオ波焼灼術、および最新の化学療法（免疫チェックポイント阻害剤）を数多くこなし、ともに症例数は福岡市で上位に入ります。地域の患者さんや関連医療機関の先生方に、微力ではございますが貢献できますよう精一杯努力して参りますので、どうか宜しくお願い致します。



第二消化器外科 部長 小林 毅一郎

私は平成9年鹿児島大学卒で出身は久留米市です。専門分野は消化管疾患（特に上部消化管）に対する内視鏡手術です。これまでJCHO九州病院や佐賀大学病院、千早病院、前任地である北九州市立医療センターでほとんどの手術を内視鏡手術で行ってまいりました。また昨年よりロボット支援手術（ダヴィンチ）も行っております。手術以外では胆膵疾患に対するERCPや化学療法、緩和ケア等の治療にも携わって参りました。

地域の皆様や先生方に信頼していただけますように、安心・安全かつ迅速丁寧な診療を心掛け進じてまいりますので何卒宜しくお願いいたします。

Greetings of moving

着任・就任医師の紹介



感染症内科 部長 三宅 典子

令和6年より感染症内科部長および感染防止対策室長を拝命いたしました。わたくしは長らく、九州大学病院で感染症診療および感染対策、研修医の指導に従事しておりました。福岡赤十字病院での勤務は初めてですが、患者さんや地域の先生方、そして他の診療科の先生方から信頼される診療を行ってまいりたいと思っています。また、当院は福岡県の第二種指定病院としての役割もありますので、輸入感染症、新興感染症に対しても多職種と協力しながら対応してまいります。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



第二産婦人科 部長 藤田 恭之

これまで九州大学病院 総合周産期母子医療センターで周産期医療を中心に臨床、研究、教育を行ってまいりました。そのような経験を活かして、福岡赤十字病院では、これまで以上に、妊婦さんが安全かつ安心してお産に臨めるように、総勢10名の常勤医とともに妊婦さんをサポートしていきたいと考えています。

産科合併症や産科救急に関する母体搬送や胎児疾患に関する外来紹介もお受けしておりますが、当院における新生児の管理は在胎34週以降となっていますので、当院での管理が困難と判断した場合には、近隣の周産期センターと連携を取りつつ、ハイリスク妊娠に対しても対応してまいります。

今後は、NIPTや羊水染色体検査といった出生前遺伝学的検査や超音波検査による妊娠中期の胎児スクリーニング検査に関しても充実させていきたいと考えております。近隣の先生方からのご紹介をお待ちしておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



糖尿病・代謝・内分泌内科 部長 井元 博文

糖尿病を専門とする25年目の医師です。令和2年10月に当院に赴任して4年目になります。

なかなかうまくいかないことが多い糖尿病治療ですが、私は「楽しくて分かりやすい糖尿病療養指導」を創ることを目指して参りました。＜実績その1＞生バンド演奏の横で医師が踊り、参加者の方々が一緒に踊る「オールディーズ de 運動療法」・門司掖済会病院で立ち上げ ＜実績その2＞生活習慣病啓発キャラクター「さとしお」の立ち上げ・製鉄記念八幡病院の名義で商標登録済

当院では7日間クールという短期間での糖尿病教育入院を年間約45回行っております。血糖管理のみならず、糖尿病に合併する疾患に対する評価や治療でお困りの際にはぜひご相談頂ければ幸いに存じます。糖尿病は慢性疾患ですので、できる限り、かかりつけ医の先生方と密な連携を取りたいと考えております。ご指導ご鞭撻の程何卒宜しくお願い申し上げます。



第三小児科 部長 古野 憲司

小児科専門医で、前任地（福岡市立こども病院）では小児専門病院の総合診療科として、元気で優秀なスタッフと一緒に、救急外来、川崎病センター、感染管理室などを主に担当してきました。

ご存知の通り、少子化と予防接種の普及で一部の先天性疾患や感染症が減っていますが、これまでの小児科の常識や臓器別の診療だけでは対応しきれない困りごとを抱えたこどもが増えています。福岡赤十字病院の先輩方が気付きあげてこられた患者一人一人を丁寧に診療していく伝統と診療科相互の連携体制に、わたしの経験を融合させて、さらに地域医療に貢献する小児科になっていきたいと思っています。

こどもに関する医療的な困りごとで、クリニックで解決できないことがありましたら、ご相談いただけますと幸いです。一緒に考えさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。



第三血液腫瘍内科 部長 河野 一郎

血液内科を専門として、大学病院、三井大牟田病院（現大牟田天領病院）、中間市立病院（閉院）、関東労災病院（川崎市）、産業医勤務（東京）、横浜労災病院（横浜市）、北九州市立医療センター、浜の町病院を経て、2017年4月より当院に勤務してまいりました。

当科では、発熱やリンパ節腫脹などをきたす悪性リンパ腫、異常な白血球増加・減少などをきたす白血病、貧血や腎障害や骨折などをきたす多発性骨髄腫などの造血器腫瘍、原因がわからない白血球減少、貧血、血小板減少などの良性疾患などの血液疾患全般の診療をおこなっています。

今後も引き続き精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



新たな国民病 慢性腎臓病(Chronic Kidney Disease)

chronic kidney diseaseの頭文字をとったもので、慢性に経過するすべての腎臓病を指します。尿や血液、腹部超音波やCTなど病院や健康診断で行う検査で腎臓の機能に異常が見られ、その状態が3カ月以上続いている場合に診断される病気です。

慢性腎臓病(CKD)の進展を抑制するために

日本人の8人に1人が慢性腎臓病(CKD)に罹患していると言われていますが、高齢化に伴い、今後さらに罹患率が上昇するものと推察されます。CKDが進展するほど、血液透析、腹膜透析、腎移植などの腎代替療法が必要になる確率が高くなるだけでなく、心血管病(CVD)の発症率、CVDによる死亡率も高くなることが明らかになっています。したがって、CKDの進展を抑制することは、末期腎不全を減少させ、CVDの発症率とそれによる死亡率を低下させることにもなります。GFRが60mL/min未満に腎機能が低下するか、検尿異常や形態異常など腎臓に異常が認められる場合にCKDと診断されますが、その原因は様々で、糖尿病性腎症、高血圧性腎硬化症、慢性糸球体腎炎、多発性嚢胞腎などが挙げられます。従いまして、慢性腎臓病に共通した腎機能障害の増悪因子(高血圧、糖尿病、高脂血症、蛋白尿など)の治療を行うとともに、原疾患に応じた治療を行わなければなりません。例えば、慢性糸球体腎炎では腎生検で確定診断後にステロイドによる治療を行うことが多いのですが、腎機能障害が高度な場合には既に腎組織の荒廃が進んでいて腎臓が萎縮しているため、腎生検を

行えず確定診断ができなかったり、ステロイド治療の効果が期待できなかったりするため、できるだけ腎機能が保たれているうちに治療介入することが重要になります。血液検査で血清Cr濃度が正常範囲を超えたときには、既に腎機能障害が進展していることが多いため、腎機能の指標として血清Cr濃度から推算されるeGFRを使用していただくことを推奨します。また、蛋白尿が多いほど将来的に腎機能が悪化することが明らかになっていますので、検尿で蛋白尿をチェックしていただくことも重要になります。蛋白尿や腎機能障害を早期に発見し早期に治療介入すると、腎機能障害の進展を抑制できる可能性が高くなりますので、腎機能障害の原因や治療がご不明の際には腎臓内科へご紹介いただけますと幸いです。よろしくお願いいたします。

Cross
Heart

第26回 日本医療マネジメント学会学術総会の開催について



第26回
日本医療マネジメント学会学術総会

会長 中房 祐司
(福岡赤十字病院 院長)



この度、第26回日本医療マネジメント学会学術総会を2024年6月21日(金)・22日(土)の2日間にわたり、福岡国際会議場・福岡サンパレス(福岡市)に於いて開催させていただくことになりました。福岡での開催は8年ぶり、3回目です。充実した学術総会となるよう鋭意準備を進めて参りました。

第26回学術総会では、テーマを「信頼と調和による医療マネジメント～地域と共に質の高い、安全な医療をつくる～」と致しました。医療の質を高めること、患者の安全を守ることは、病院が信頼を得るために最も重要な要素です。この信頼に基づいて近隣の医療機関と連携をすることができます。当院としては地域の患者さんや医療者としてしっかりとした信頼関係を築き、お互いに理解、協力し合いながら、より質の高い安全な医療を行う姿勢を大切にしたいと考えています。

本学術総会はクリティカルパス、医療安全、医療連携を三つの大きな柱としており、今回はこれらに関する教育講演5題、教育セミナー2セッションを設けております。さらに、スタートしたばかりの働き方改革、医療現場における実際のデジタルトランスフォーメーション(DX)、今後の新興感染症への対応など数多くの課題があり、これらを含むテーマにて合計20セッションのシンポジウムを設けました。その他様々な医療マネジメントに関する内容の一般演題約900題をご発表いただく予定です。ご参加の皆さまに役に立つプログラムをとという思いを込めて構成致しました。

多くの皆さまのご参加をお待ち致しております。



地域とともに！

登録医紹介

当院の基本理念である「信頼と調和に基づく最良の医療～地域を尊重、世界を視野に」を行うための心強いパートナーとなる登録医の先生方をご紹介します。

樋口病院

Q 開設から現在について

地域住民に密着した外来から入院まで一貫した医療を提供するため、昭和61年6月にこの春日市紅葉ヶ丘の地に病院を開設しました。日々進化する医療の中で、最新の医療設備と経験豊富なスタッフを揃え、病気の早期発見と治療はもとより、疾病予防や健康維持などのヘルスケアに関して大きく貢献し、春日市およびその周辺における中核病院に成長したと自負しています。

Q 診療体制や特徴

内科を中心とした診療を行っていましたが、時代の変化とともに地域の医療ニーズに合わせ診療の幅を広げて参りました。外来では循環器だけではなく、消化器内科、腎臓内科、皮膚科、泌尿器科を中心に、糖尿病や睡眠時無呼吸症候群など専門外来、人工透析にも対応しております。また60床の小規模病院ではありますが常勤医師10名をはじめとした経験豊富な医療スタッフで患者様へ最適かつ安全・安心な医療を提供しております。入院に関しては医師、看護師だけではなく早期退院を目指すためリハビリの充実を図り規模を拡大し、検査技師、薬剤師、管理栄養士等様々な職域のスタッフで患者様の早期退院を目指しています。在宅復帰後を支援する為の訪問診療、訪問看護、訪問リハビリ、通所リハビリ、居宅介護支援といった在宅支援部門でのサポートも行っております。

Q 地域の方々へのメッセージ

超高齢化社会が進む現代において病気は複雑化し、またその質も変化しています。その変化に対応すべく、安心・良質の医療が提供できる病院機能の充実とスムーズな地域医療・介護連携が実現できる地域に根差した病院づくりを行っております。病気の治療だけでなく、地域の皆様が健康に自分らしく住み慣れた地域で生活できるようスタッフ全員でサポートしてまいります。



院長 松村 順 先生
住所 816-0833 春日市紅葉ヶ丘東1丁目86番
TEL 092-572-0343
診療内容 循環器内科・消化器内科・糖尿病内科・皮膚科・泌尿器科・形成外科・腎臓内科・専門外来・禁煙外来・睡眠時無呼吸症候群外来
診療時間 月～金 8:30～12:30／14:00～17:30
土 8:30～12:30
休診日 日曜・祝祭日・年末年始



こもたクリニック

Q 開設までの経緯

昭和55年に九州大学医学部を卒業し、九州大学病院、福岡赤十字病院腎臓内科などで研鑽を積み、平成8年に医療法人こもたクリニックを開設しました。

Q 専門分野

当院では血液透析、人工透析も行っている内科・腎臓内科・人工透析内科です。外来血液透析と腎臓病の早期発見や重症化予防に力を入れております。

Q 診療体制や特徴

当院では、腎不全を回避するために糖尿病や高血圧、慢性腎炎などの基礎疾患の診断治療に注力した内科診療と外来血液透析を行っています。腎臓内科に関しては令和5年の1年間で当院より9例の腎生検実施に至っており、腎疾患の精査、重要化予防に注力しています。血液透析のコンソールは49台あり、月水金(昼)、月水金(夜)、火木土(昼)の3サイクル外来血液透析を行っています。昼透析においては、希望者のみ送迎を実施しており、駐車場も完備しております。当院は福岡赤十字病院などと連携し合併症治療を行っています。血液透析を行うにあたり厳正な水質管理を行い、透析アミロイド症、低血圧、レストレスレッグス症候群等に対応するために、通常の血液透析に加えオンラインHDF(持続的に補液)やIHDF(間歇的に補液)、リクセル(β2ミクログロブリン吸着)の併用等を行っています。フットケアについても大きな力を注いでおり、足の爪の定期的処置に取り組んでいます。重症下肢虚血に対しては救肢を目的として福岡赤十字病院などと連携し積極的な治療を行っています。また、LDL吸着療法も積極的に行っております。スタッフ一同、患者様が笑顔になれるような診療を目指しております。

Q 地域の方々へのメッセージ

当クリニックでは患者様のコミュニケーションを大切にしております。医師はじめ医療スタッフ皆でチーム医療を行いあらゆる側面から患者さんをサポートいたします。健康診断などで蛋白尿、血尿などの検尿異常、軽度の腎機能低下などを指摘されてお困りの方はお気軽にご相談ください。外来血液透析を希望する方は送迎を含めてご相談ください。



院長 荻田 哲夫 先生
住所 812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目13-29
TEL 092-472-5851
診療内容 内科・腎臓内科・人工透析内科
診療時間 月水金 10:00～16:00 火木 10:00～15:00
土 10:00～12:00
※血液透析 月水金(昼・夜)火木土(昼のみ)
休診日 日曜および祝祭日



春

デトックス

健康レシピ

春にんじんのポタージュ



材料(4人分)

春にんじん……………200g
新たまねぎ……………80g
新じゃがいも……………40g
バター……………15g
水……………150cc
チキンコンソメ……………固形1/2
牛乳……………200cc
塩……………少量
フレッシュクリーム…少量
パセリ……………少量

作り方

- ① にんじん、たまねぎ、じゃがいもは皮をむき、薄くスライスして鍋に入れ、バターを加えて全体に火が通るまで弱火でゆっくり炒める。
- ② ①に水とコンソメを入れ、水分が1/3程度になるまで煮詰める。
- ③ ミキサーに牛乳と②を入れて全体がなめらかになるまで攪拌する。
- ④ ③を鍋に移し替えて、好みの濃度になるまで弱火で加熱する。塩を加えて味を整える。
- ⑤ 器に盛り付け、フレッシュクリームや粉パセリ(もしくは刻んだパセリ)をのせて完成。

お好みで、薄くスライスしたにんじんをパリパリになるまで130～140℃の油で素揚げして、砕いてトッピングすると味や食感のアクセントになります。



春にんじんは、通常のもの比べると柔らかくてみずみずしいのでサラダなどで食べることもお勧めです。今回は油(バター)を使うことでβカロテンの吸収がよくなり、より甘みやコクが感じられるポタージュにしました。